

研究大会指導案（外国語科） 令和4年10月13日（木）6時間目

1. 単元構成・計画

教科名	英語科	学年	2年	時期	10月
単元名	Unit5 Universal Design				
目標	知識及び技能【1】	疑問詞+to を用いた文や主語+be 動詞+形容詞+that の文の形・意味・用法を理解できる。			
	知識及び技能【2】	疑問詞+to を用いた文や主語+be 動詞+形容詞+that の文の理解をもとに、使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝えあう技能を身につける。			
	思考力、判断力、表現力等【1】	誰もが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものやことの使い方を説明することができる。			
	思考力、判断力、表現力等【2】	相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えることができる。			
	思考力、判断力、表現力等【3】	誰もが暮らしやすい社会について考えるために、自分がしてみたいことを伝えあうことができる。			
	学びに向かう力、人間性等【1】	誰もが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものの使い方ややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝えようとしていたりできる。			
評価	評価の観点	評価規準	評価材料		
	知識・技能【1】	疑問詞+to を用いた文の形・意味・用法を理解している。	①単元末のパフォーマンステスト ●授業内でのCBT		
	知識・技能【2】	主語+be 動詞+形容詞+that の文の形・意味・用法を理解している。			
	思考・判断・表現【1】	身近なものやことの使い方や、やり方を伝えあっている。			
	思考・判断・表現【2】	相手の考えや気持ちを聞き取ったり、自分の意見や考えを伝えるために英文の概要、要点を捉えたりしている。	①ワークシート ②単元末のパフォーマンステスト		
	思考・判断・表現【3】	誰もが暮らしやすい社会をつくるために、自分がしてみたいことや、その理由などを伝えあっている。			
	主体的に学習に取り組む態度【1】	誰もが暮らしやすい社会について考えるために、自分が関わることができることについて主体的に学び、考えたことや感じたこと、その理由などを伝えようとしている。	①単元末のリフレクションシート		
指導計画			評価計画		
時数	指導内容		知	思	主
1	Preview Unit5 導入 疑問詞+to を用いた文について学ぶ。		【1】 ●		【1】 ①
2(本)	Scene1 疑問詞+to を用いた文の理解をもとに本文を読解する。		【1】 ●		
3	Scene2 主語+動詞+(人)+疑問詞+to を用いた文について学ぶ。		【1】 ●		
4	Mini Activity 主語+動詞+(人)+疑問詞+to を用いた文の理解をもとに本文を読解する。		【1】 ●		
5	Read and Think1① だれもが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちを読み取る。		【2】 ●		
6	Read and Think1② だれもが使いやすいものについて考えるために、自分の関心や喜びの気持ちなどを伝えたりする。		【2】 ●	【1】 ①	
7	Read and Think2① ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉える。		(1) [2] ●		
8	Read and Think2② 誰もが暮らしやすい社会について考え、伝え合う。		(1) [2] ●	【2】 ①	
9	Unit5 まとめ		(1) [2] ●	【3】 ①	
10	パフォーマンステスト		(1) [2] ①	【3】 ②	【1】 ①

※○主に評定に用いる評価、●主に学習改善につなげる評価

2. 本單元における C B T および Google フォームの活用の場面について

1	授業内で 10 分程度の CBT を行う。
2	授業終了 5 分前に、リフレクション（振り返り）シートを記入する。

3. 本時案（2 / 10）

(1) 本時の目標		
知識及び技能 【1】	疑問詞+to+動詞の原形の意味・用法を理解できる。	
(2) 学習の展開		
学習活動	教師の働きかけ・指導上の留意点	指導上の留意点 ●・○評価の方法
1. あいさつ	1. 曜日、日にちを聞く。	
2. ウォームアップ活動	2. 「すらすら英単語」を読ませる。	
3. 前時の復習（CBT）	3. 生徒の解答状況を把握する。	①生徒の解答を確認する
本時の課題：How to ~の表現を理解して、本文を読むことができる。		
4. Q&A	4. P73 の？に答えさせる。	
5. 本文読み	5. リポート 2 回、日本語→英語 1 回	
6. 単語確認	6. 新出単語を確認させる。	
7. Practice	7. P73 の Practice を解かせる。	
8. リフレクションシート記入	8. 記入できているかを確認する。	
(3) 主に学習改善につなげる評価と改善の手だて		
知識・技能 【1】	C (手だて)	CBT の結果を生徒に確認させ、解説を読ませることで、知識の補強を行う。
		CBT の結果を授業後に教師が確認し、次回の授業において説明するべき項目を考える。